

東陽テクニカ製 Synesis Distributed クイック・スタートガイド

東陽テクニカ製 Synesis はソフトウェア及びライセンスがインストールされた状態で出荷されます。本製品を開梱されましたら、以降に示す手順に従ってください。

1. Synesis に関する重要なお知らせやバージョンアップ情報を受け取るために、同梱の「製品ユーザー登録のご案内」に従い、製品のユーザー登録を行なってください。
2. Synesis を 19 インチラックへ設置し、以降に示される該当するモデルの図に従ってケーブルを接続してください。
注意: 突然電源が切断されるとデータが消失する恐れがあります。このような事態を防ぐために、無停電電源を別途ご用意いただき、これと Synesis を接続することを推奨いたします。
3. 拡張ストレージ・ユニットの電源を ON にしてください。その後、ディスクドライブのフロントパネル上にある緑色 LED の点滅が終わる(点灯状態になる)まで待ちます。
※拡張ストレージ・ユニットがある場合実施
その後、メイン・ユニットの電源ボタンを押し、電源を ON にします。
4. システムログイン画面が表示されましたら、
User: **toyo** , password: **admin** にてログインしてください
5. ローカルのブラウザからエージェントへアクセスするには、
(ア) FireFox アイコンをクリックしてブラウザを起動します。
(イ) アドレス・フィールドに <http://localhost:8080/> と入力してください
(ウ) ログインページにて、user name: **admin**, password: **synesis1** を入力してください

6. リモートのブラウザからエージェントへアクセスするには、
(ア) デスクトップの左上に位置するターミナル・アイコンをクリックして、ターミナル・ウィンドウを開きます。

- (イ) eth0 ポートは、固定 IP アドレス：172.22.201.250/16
それ以外のポートは、DHCP が デフォルトで設定されています。
下記コマンドを入力して、接続されている管理ポートの IP アドレスを確認します。
※パスワードを要求された場合は、**admin** を入力してください。

```
$ sudo ifconfig
```

- ① 固定 IP アドレスを設定・変更したい場合、interfaces ファイルを vi エディタで編集します。ターミナルより下記コマンドを入力してください

```
$ sudo vi /etc/network/interfaces
```

- ② デフォルト・パスワード **admin** を入力します。挿入(INSERT)モードへ移行するために i キーを押し、その後以下の記述を入力します。(下線部は接続するネットワークに合うように読み替えてください)

```
auto eth0  
iface eth0 inet static  
address 172.22.201.250  
gateway 172.22.254.254  
netmask 255.255.0.0  
network 172.22.0.0  
broadcast 172.22.255.255  
dns-nameservers 172.22.254.254
```

- ③ **Esc** キーを押し、**:x** と入力。その後 **Enter** キーを押し、変更の保存とエディタの終了を行います。システムを再起動して変更を有効にするために、下記コマンドを入力します。※パスワードを求められた場合 **admin** を入力します。

```
$ sudo shutdown -r now
```

- (ウ) リモートのブラウザのアドレス・フィールドに
[http://\[ステップ 5-\(イ\)で確認した IP アドレス\]:8080/](http://[ステップ 5-(イ)で確認した IP アドレス]:8080/)
と入力してください。

- (エ) ログインページにて、username : **admin** , password : **synesis1**
を入力してください。

7. キャプチャをするには、ブラウザに表示された画面左側メニューで「エージェント」を選択し、「概要」タブを選択。その後「キャプチャの開始」ボタンをクリックします。



The screenshot shows the SYNESIS web interface. On the left is a vertical navigation menu with icons for 'ダッシュボード' (Dashboard), 'エージェント' (Agent), 'AANPM', and 'マイクロバース' (Microbase). The 'エージェント' menu item is selected. The main content area has a top navigation bar with tabs: '概要' (Overview), 'レコード' (Records), 'ロック' (Lock), and 'トレースファイル' (Trace Files). Below the tabs are three buttons: 'キャプチャの開始' (Start Capture), 'キャプチャの終了' (End Capture), and 'オプション' (Options). The 'キャプチャの開始' button is highlighted with a red box. Below the buttons is a table showing agent details.

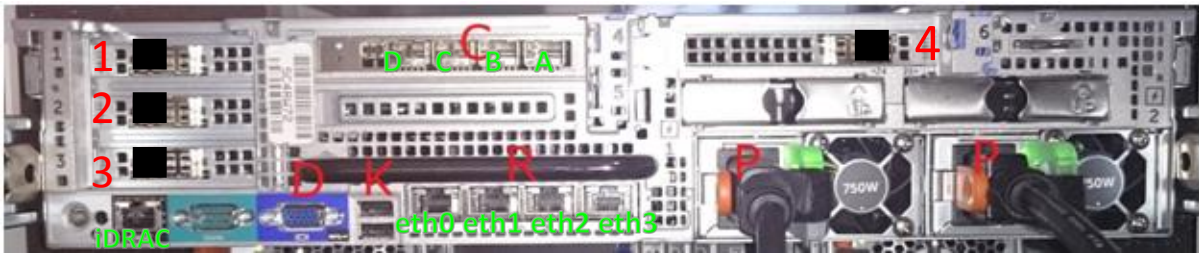
名前	Default Agent
ホスト	SYS-4G-HPP
開始時刻	--
最終アップデート	--
持続時間	--
ステータス	停止

Below the table, there are three columns: 'チャンネル' (Channel) with an unchecked checkbox, '使用率' (Usage Rate), and 'スループット' (Throughput).



- D - VGA モニタ(同梱されていません)を接続
- K - USB キーボードとマウス (同梱されていません)を接続
- R - Synesis のリモート操作・管理には、これらのイーサネットポート(10/100/1000 Mbps)の 1 つを管理用ネットワークへ接続してください。
- C - これらのポートをモニタ, キャプチャ, 解析をしたいネットワークへ接続してください。
※ポート割当は図を参照してください
- P - AC 電源ケーブルを接続してください。電源への入力は 100-240 V AC (オート・レンジング), 50/60 Hz です

図 1 : SYS-4G-STR, SYS-4G-HPR の接続



D - VGA モニタ(同梱されていません)を接続

K - USB キーボードとマウス (同梱されていません)を接続

R - Synesis のリモート操作・管理には、これらのイーサネットポート(10/100/1000 Mbps)の 1 つを管理用ネットワークへ接続してください。

C - これらのポートをモニタ, キャプチャ, 解析をしたいネットワークへ接続してください。
※ポート割当は図を参照してください

1,2,3,4 - メイン・ユニットと拡張ストレージを、上図の「メイン・ユニットに付された番号」と「拡張ストレージ・ユニットに貼付された S/N ラベルの末尾の番号」が一致するように SAS ケーブルで接続してください。

SYS-8G2-HPR : 接続しません

SYS-10G-R : 接続しません

SYS-20G-HPR : メインユニットの” 1” に拡張ストレージを 1 台接続します

SYS-30G-R : メインユニットの” 1~2” に拡張ストレージを 2 台接続し、メインユニットの” 2” の残りのポートに S/N ラベルの末尾が 3 の拡張ストレージを接続します

SYS-40G(2)-HPR : メインユニットの” 1~2” に拡張ストレージを 2 台接続します

SYS-100G-HPR : メインユニットの” 1~4” に拡張ストレージを 4 台接続します

P - AC 電源ケーブルを接続してください。電源への入力 は 100-240 V AC (オート・レンジング), 50/60 Hz です

図 2 : SYS-8G2-HPR, SYS-10G-R, SYS-20G-HPR, SYS-30G-R
SYS-40G-HPR, SYS-40G2-HPR, SYS-100G-HPR の接続

ご不明な点やご相談などがございましたら、こちらのサポート窓口へお問い合わせください

株式会社東陽テクニカ

技術部 Synesis サポートグループ

E-Mail : synesis-support@toyo.co.jp

TEL : 03-3279-0771(代表), 03-3245-1107(直通)

受付時間 : 月曜～金曜 9:30～17:30

(土日、祝日、年末年始および弊社指定休日を除く)

株式会社 東陽テクニカ
情報通信システムソリューション部
〒103-8284
東京都中央区八重洲 1-1-6
<http://www.toyo.co.jp/ict/>